

愛川水石奇木展を訪問

平成28年6月19日（日）

6月18日、19日に愛川町文化会館にて開催された、「愛川水石奇木会」主催の愛川水石奇木展を訪問してきました。

愛川水石奇木会は会員43人、河原や海岸、山で拾った石や流木を、台座に飾り水石奇木（すいせききぼく）として楽しんでいる団体です。会場には、水石の部30点、奇木の部6点の作品が展示されていました。訪問した19日の午後は、多くの方が来場され、会員の方から説明を受けながら熱心に鑑賞されていました。



穂坂さんに、解説していただきました



会員の力作が並ぶ展示会場



水石：雪の残る家の庭に梅が咲く情景



奇木：肌がウロコのように見えまさに恐竜

顧問の穂坂さんによると、水石は日本古来より伝わる文化で、採取した石は自然のままに削るなど加工せずに鑑賞するものだそうです。また、採取した後に、天日に干したり水をかけたりして長い時間をかけ石を養い、石の良さを引き出す「養石（ようせき）」というお話も聞きました。

石や木の枝を山や滝、家、動物等、想像力を膨らませながら見て歩くことは初めての体験で楽しかったです。河原で、綺麗な石を拾って遊んだ頃を思い出しました。

皆さんも、詩情豊かな水石奇木の世界をのぞいてみてはいかがでしょうか。次回は、「ふるさとまつり」の文化展で展示予定です。

【会員募集中です！】 共に楽しんでみたいという方、お気軽にお問い合わせください。

お問合せ：「愛川水石奇木会」会長 おおはざまけんいち 大塚健一氏まで

電話：090-2413-0461 mail：o_hazama@ybb.ne.jp